

〇〇からかがやく一年生

塩田 真奈美

0からとは・・・①小学生になる  
②小学校で生活する③初めてに出  
会うこと。子どもたちが疑問に思  
ったことや探求心を大切にして学  
習につなげていく。「あ・い・う・  
え・お」や「ばった」「キャベツ」  
などは手を使って発声する。

文字指導は一学期にカタカナとひ  
らがなを行い二学期で漢字をして  
三学期の始めて漢字がおわる。一  
日二文字ずつ進んでいく。一斉授  
業で唱えながら文字を書く。教師  
は机間観察をしながら丸をつける。  
三学期は復習でにんげん漢字クイ  
ズやリズム漢字をし定着させる。  
漢字テストはお試しテストをして  
から本番テストをし全員が百点を  
とれるようにしていく。一学期は  
連絡帳をペアで読ませ、二学期は  
連絡帳の横に日記を書かせる。

〇たくさん読み書き 国語の勉強

音読、唱えうたなど

根無 信行

鉛筆指導は二本で「ばっくん」

中指「まくら」紙を押さえて「さ  
あかこう」を言いながら持ち方を  
徹底している。のぼす音が間違い  
やすいので、とおくのおおかみを  
映像で流し唱え覚える。また教師  
が言う言葉を聞き子どもたちがノ  
ートに書く聴写テストをして力を  
つけている。ひらがな指導の「の」  
は首を回しながら言う。間違いの  
多い平仮名は画用紙に書いてパス  
ルのようにバラバラにし、班で組  
み立て注意するところをみんなに  
気付かせている。

〇どの子にもやる気をもたせるち  
よっとした算数教材

新田 いずみ

特別支援学校で個別指導のため  
作った手づくり教材の紙皿時計で  
は、まず短針の読み方だけを指導  
し定着したら長針へ。お話算数は  
クラスの子の写真を黒板に張り〇  
〇ちゃんがくと文章問題に登場さ  
せたり、ミニホワイトボードを使  
った位取り、数字をお金に置き換  
えたら理解ができるなど視覚に訴  
え、動作を入れ飽きさせないこと  
が大切。スプーンくじは安全。

〇さじ加減とソロの技

読み書き計算でクラスを変え  
るために 岡篤

困難な実態の中、基礎計算も一  
年生の計算カードの聞き合いから  
出発。九九で合格した子を「先生」、  
「名人」と呼び担任は苦手な子を  
個別指導し他の子は「先生」が見  
るシステムに。縄跳びは学級経営  
に位置づけ年間通して取り組んだ。  
十分間練習し、何か技ができた人  
は全体の場で発表する方法は有効  
イメージを楽しく広げるため俳句  
の暗唱・俳句作り・お話五七五を  
実践。実態と目標設定の、時間的・  
空間的・物理的さじ加減が大切だ。

〇国語・算数・体育で子どもたちが  
輝く！ ～学力研との出会いで見えて  
きたもの

吉田 雅直

気働き・ブリッジなどの一分間  
トレーニング・スペシャル問題を  
宿題に加え好評。リズム漢字・つ  
ぶやき書きに取り組み、算数では

実態調査とさかのぼり学習、体育  
ではなわとび・ランク別ドッジ・  
ブリッジと逆立ちを実践。データ  
を取ることで伸びがよく分かる。  
〇2年生がよろこぶ楽しい授業の  
つくり方入門 島本 政志

「自分の感覚や行為を通して」  
が図工科のキーワード。教科書を  
読みアレンジする。導入では子ど  
もの考えやイメージを整理。作品  
だけでなくその子の学びの過程を  
を見て評価することが大事。

〇全員で成長する喜びと個の輝き  
を感じる学級づくり ～学力研との  
出会いから1年 志村美知子

「賢くたくましくキラキラさせ  
たい」と始めた。九九の暗唱・検  
定(二の段・五・七・三・八)とサンドイッ  
チ方式を先行して教科書へ。立ち  
ブリッジに五月から取り組み学習  
発表会でも披露。全員ができたで  
なく全員ががんばったを目標に。